*2**北スポだより

N- FO

No. 58 担当:広瀬

暦の上では大寒が過ぎ暖かくなると言いますが、2月はまださむいですよね。 体調管理には十分注意してください。

2月と言えば節分ですが、豆まきはしますか?最近は恵方巻きに押され気味だと思いませんか?

と言う事で、今回は豆まきについての、お話をご紹介します。

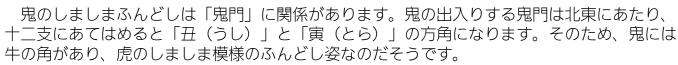


節分は年に4回あります

「<u>節分</u>」とは、四季を分けるという意味で、各季節の始まりの日「立春・立夏・立秋・立冬」の前日のことで一年に4度あります。

旧暦の頃は、立春に正月の行事が行われていたので、一年が始まる前日、現在の大みそかに相当する日として重視されたことから、立春前日が「節分」として定着したようです。

鬼の色には意味があります



三条市の本成寺の節分鬼踊りの



赤鬼・・・人間のすべての悪い心

青鬼・・・貧相で欲深い心

黒鬼・・・疑いの心

黄鬼・・・愚痴や甘えの心

緑鬼・・・おごりたかぶりの心



を意味するといわれています。

「鬼も内」の掛け声もありです



豆をまくとき、「鬼は外、福は内」が定番の掛け声ですが、寺社や地域によっては「<u>福は内</u>、<u>鬼も内</u>」と言うことがあります。鬼を祀っている寺社や、鬼の字が姓や地名につく地域では、「鬼も内」と言うことも多いそうです。「福は内」のみの寺社もあります。観音さまや如来さまの前には、鬼はいないとされるためです。東京都内最古の寺院、浅草寺は御本尊が観音さまなので「千秋万歳(せんしゅうばんぜい)福は内」と発声します。

なぜ豆をまくのか



季節の変わり目には鬼(邪気)が入りやすいと言われます。宮中では新しい年を迎える前に、鬼(厄)をはらう「追儺(ついな)式」が執り行われており、その宮中行事の「豆を打って、悪鬼邪気をはらう」が長い年月を経て、一般にも豆まきとして広く伝わったと言われています。またその昔、京都の鞍馬山に住む鬼が人々を苦しめていたところに、七福神の毘沙門天が現れ、炒り大豆を鬼の目に投げるように言い残し、目に投げつけたところ、鬼を退治できたと言うお話があります。鬼の魔の目(魔目「<u>まめ</u>」)に豆を投げると魔を滅する(魔滅「<u>まめ</u>」)

鬼に豆を投げて<u>厄をはらい、福を呼び込み、数え年の豆を食べて、無病息災を願う</u>意味が込められているのです。

鬼より強いワタナベさん

ことができると考えられていたのです。



鬼(厄)をはらい、無病息災を願う豆まきですが、ワタナべさんには鬼が敬遠して近寄らないため、豆まきをしなくてもよいそうなのです。平安時代の武将だった「渡辺綱」は踏各量子(鬼の頭領)退治や、一菜美橋で鬼の腕を切り落としたお話があります。この話が鬼の間で広まり、渡辺綱の血族を恐れてワタナベ姓に近づかなくなったので、豆まきをしなくてもよいと言われています。

大豆or落花生 ~そしてお菓子やみかんも~

豆まきには<u>炒り大豆</u>を使います。生の豆をまくと、拾い忘れたものから芽が出てしまう可能性があり、縁起が悪いとされているからです。「炒る」が「射る」にも通じ、「魔を射る」となるわけです。

ここまでの、お話はすべて大豆です。全国的には炒り大豆をまきます。新潟県民の皆さんは、炒り大豆はもちろん、<u>落花生</u>・小さいお子さんがいる方は、<u>お菓子やみかん</u>もまきませんか?北海道・東北・<u>新潟</u>・長野では、落花生を使う割合が高いそうです。いつ頃から落花生を使い始めたかは、はっきりしませんが、北海道で落花生の生産が拡大した、昭和30~40年代に替わってきたとも言われます。雪の多い地方に広まったのは、「<u>雪の中にまいた豆を拾いやすい</u>」「<u>掃除が楽</u>」「<u>殻つきなので衛生的</u>」等、合理的な理由が伴っているからだそうです。





【参考】養命酒製造株式会社: 豆まきで健康祈願!節分に秘められた謎を解く!マイナビニュース: ワタナベさんは豆まき不用!?話したくなる節分トリビア4つー般財団法人全国落花生協会: お役立ち情報



